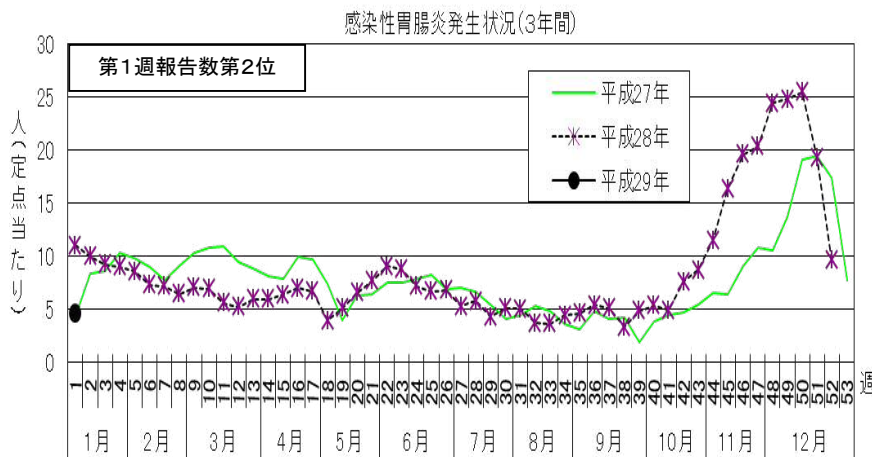
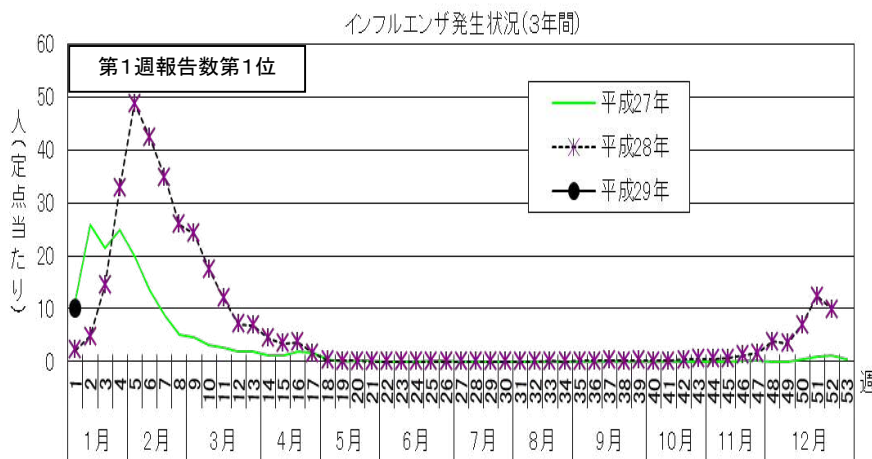


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成29年1月2日（月）～平成29年1月8日（日）〔平成29年第1週〕の感染症発生状況

第1週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)流行性耳下腺炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は10.22人と前週（9.95人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.64人と前週（9.61人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。
 流行性耳下腺炎の定点当たり患者報告数は1.39人と前週（1.19人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



こんな病気にも気を付けて！～E型肝炎～

E型肝炎の届出数は全国的に増加傾向で、特に平成28年は顕著な増加がみられました。川崎市においても、平成28年は8件の届出があり、10年間で最大の届出数でした。飲食物の加熱や手洗いなどの予防対策を徹底しましょう。

E型肝炎とは？

●感染経路

- ・E型肝炎ウイルスに汚染された食物、水等の摂取（アジア、アフリカで多い）
- ・生や加熱不十分な動物の内臓、特に豚レバーの喫食（日本や欧米で多い）

●潜伏期間

平均6週間（2～9週間）

●症状

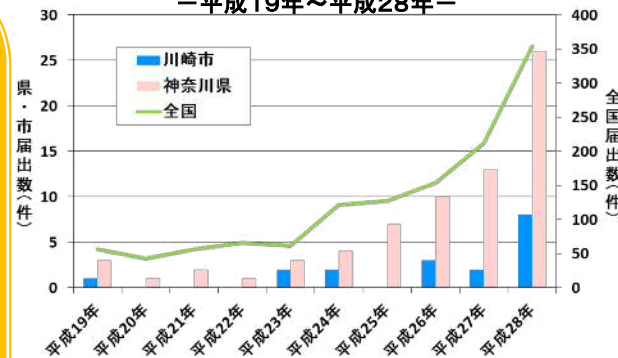
発熱、全身倦怠感、悪心、嘔吐、食欲不振、黄疸
 ※妊婦は重症化しやすいと言われています。

●治療

特異的な治療法はなく対症療法が中心



全国、神奈川県、川崎市におけるE型肝炎発生状況
 ～平成19年～平成28年～



予防対策

- ✓豚やその他の肉・内臓を喫食する際は、中心部まで火が通るよう十分に加熱しましょう。
- ✓流行地域へ旅行する際には、清潔の保証がない飲料水（氷入り清涼飲料を含む）、カット済みの野菜・果物の摂取を避けましょう。